

葛飾総合高等学校 令和2年度 教科国語科目国語総合 年間授業計画

教 科：国語 科 目：国語総合 単位数： 4 単位
対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組
教科担当者：α（A組：田島）（B組：田島）（C組：田島）（D組：澁谷）（E組：澁谷）（F組：澁谷）
教科担当者：β（A組：川合）（B組：川合）（C組：川合）（D組：田島）（E組：田島）（F組：田島）
使用教科書：（ 国語総合 〔筑摩書房〕 ）
使用教材：（ 国語総合 課題ノート 〔筑摩書房〕 体系古典文法〔数研出版〕 古文単語315〔桐原書店〕 ）

	指導内容	科目国語総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
4 月	休校中課題①	・逆説的な論理展開を理解する。 ・「序論」「本論」「結論」の三段構成の評論の型を理解する。	内容の理解度 提出物状況 小テスト 考查の点数をもとに評価する。	
		・親しみやすい説話を読み、古典を読み解くおもしろさを体験する。 ・古語と現代語の違いを知る。		
5 月	休校中課題②	・対比を使った文章の読解ができる。 ・作者について調べることで、作品の理解を深めることができる。	同上	
		・単語帳の使い方を理解する。 ・現代語訳の作り方を理解する。		
6 月	α 評論 1 「水の東西」	・対比を使った文章の読解ができる。 ・対比を使って文章を書く。	同上	4
	小説 1 「羅生門」	・小説の時代背景や主人公の立場などをまとめる。 ・周到に計算された描写や比喻などの表現技巧を整理し、その効果考える。 ・「下人」と「老婆」のやりとりや小説の結末を通して、人間が自分の進退や生死などに関する選択や決断で苦悩するときの思考のあり方を考察する。		
	β 歌物語 「芥川」	・歌物語の特徴について理解し、歌物語の展開を把握する。 ・場面の展開を把握する。 ・歴史的仮名遣いや品詞について理解する。		4
7 月	定期考查 1学期のまとめ	・1 学期に学んだこと振り返り、定着をはかる。	同上	6
				6
9 月	α 評論 2 「食べ物と伝統」	・本文で論じられている「伝統」を理解する。 ・具体例を整理しながら読解ができる。 ・伝統が作り出される仕組みを理解する。 ・「構築主義」について理解する。	同上	6
	β 随筆 「つれづれなるままに」	・さまざまな思索・思考の多面性や柔軟性に注目しながら読むことができる。 ・用言の活用について理解しながら読むことができる。		6

	指導内容	科目国語総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	α 小説2 「清兵衛と瓢箪」 詩 「自分の感受性くらい」	・小説の時代背景や主人公の立場などをまとめる。 ・瓢箪の手入れの仕方などの細部が丹念に語られることによって生み出される効果を考える。 ・詩を読み味わい、考えたことを文章にまとめる。	同上	6
	β 随筆 「丹波に出雲といふところあり」	・作者の、人間や自然に対する見方・感じ方を読み味わうことができる。 ・用言の活用について理解しながら読むことができる。		6
	定期考査			
11月	α 評論2 「贅沢の条件」	・「贅沢」に対する二項対立を整理する。 ・括弧書きされた語句や引用、比喩表現に注意しながら読解できる。 ・「歴史」と「物語」について理解する。	同上	4
	α 随想 「ある時間待ってみてください」	・経験から生まれた筆者のメッセージを読み取る。 ・考えたことを共有して考えをさらに深めることができる。		4
	β 軍記物語 「平家物語」	・これまで培った基礎力をいかし、長い古文を読む力をつける。 ・敬語や助動詞、音便など、表現の細部とその効果について理解する。		6
12月	定期考査 2学期のまとめ	・2学期に学んだこと振り返り、定着をはかる。	同上	
1月	α 短歌俳句 「恋の歌を読む」 小説3 「セメント樽の中の手紙」	・作者の心に触れることで、和歌を身近に感じることができる。 ・和歌に興味をもち、創作したり味わうことができる。 ・「女工」の手紙に対する「松戸与三」の受け取り方を読み取る。 ・「七人目の子供を見た」という結末が暗示するものは何かを考える。	同上	4
	β 故事 「借虎威」	・返り点、再読文字、置き字に注意しながら読むことができる。 ・繰り返し声に出して音読し、漢文を読み味わう。 ・登場人物や話の展開を理解する。		4
2月	α 評論3 「考える身体」	・今と昔、農業と放牧、西洋と日本、個人と集団など、さまざまな二項対立を整理しながら読解する。 ・文章を読んで、自分の日常の身体について考えたり見直したりできる。 ・物心二元論や心身二元論を理解する。	同上	6
	β 十八史略 「刺客荊軻」 漢詩 「涼州詞」「春望」「静夜思」	・五言絶句・七言絶句・五言律詩・七言律詩の形式(字数・句数・押韻)を理解させる。 ・漢詩における表現上の特色として、「対句」を理解させる。		6
3月	定期考査 1年間のまとめ	1年間で学んだこと振り返り、定着をはかる。	同上	